

もわか若者会議2班 テーマ：真岡木綿（生産、活用など）

【真岡木綿で真岡市をひとつに】

江戸時代 【でも、今は・・・】

①選んだ理由 **木綿 = 真岡** → 「真岡木綿」の魅力はあまり知られていない？ → 今年度、「草木染見本帖」でグッドデザイン賞を受賞するなど外部からの評価を受けている。

歴史的にも価値がある
真岡ならではの地域資源

よく分からない
・若い人は興味がない
・なんか高そう

この機を活かしてブランド化を図る！

【真岡木綿工房へ視察、体験して分かったこと】

②視察結果

①商品化は思った以上に難しい

・商品化できるアイデアがあっても、商品を店頭で並べる分だけ縫製してくれる人がいない。

②織姫さんはいろいろ挑戦されている

・製造や伝統の継承だけでなく、新しいデザインを学ぶために、講師を招くなどチャレンジを続けている。

③体験の面白さ

・製造や伝統の継承だけでなく、新しいデザインを学ぶために、講師を招くなどチャレンジを続けている。



③将来像

真岡木綿の認知度向上

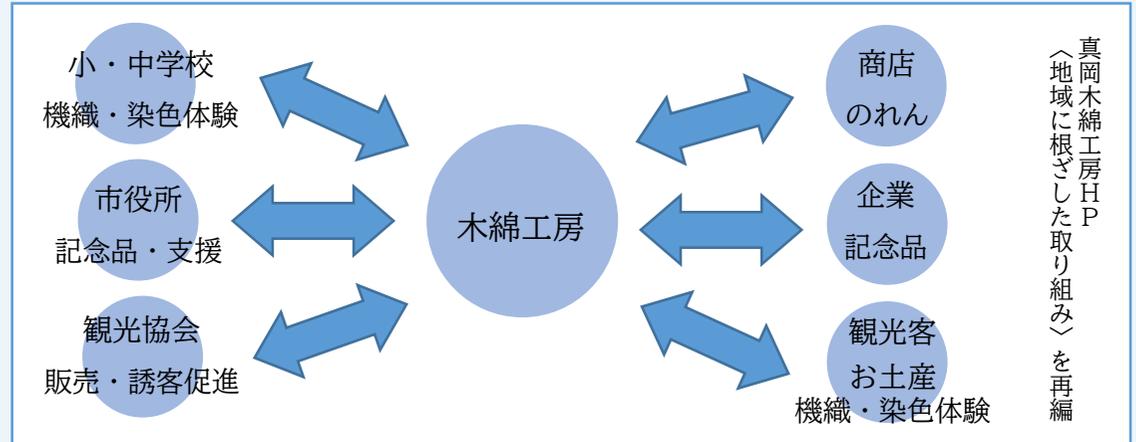
真岡木綿が広く知られ、身近なものになることで全国的な需要が生まれる

真岡木綿の保存、振興につながる

認知度があがり、収益があがれば、織姫さんのなり手も増えることで、保存・振興につながる

真岡市のPRにつながる

真岡木綿を通して、真岡を訪れる人が増え、魅力発信にもつながる



④企画

【自分たちで行った事業】

- 真岡木綿のPR動画の作成
⇒真岡木綿の魅力 YouTube、Instagramで周知

織姫さんと協力して作成

作成した動画はこちら
(市公式YouTube)

<https://youtu.be/pe3kjdveSdc>



⑤提案

- 市内小・中学校での木綿栽培、訪問授業
⇒市民の郷土愛の醸成につながる
- 真岡木綿市内小・中学校での木綿栽培、訪問授業
若者を始め、魅力をもっと発信！
商業的にもブランディングを図り、収益にもつなげる
⇒真岡木綿の保存・振興につながる
- 木綿の種まき、収穫の手伝いなどの体験を企画
⇒交流人口・関係人口の創出につながる